



院外処方せんFAXコーナー終了のお知らせ

マイナ保険証や電子処方せんの普及に伴い、院外処方せんFAX利用が将来的に減少されることから、令和7年8月1日（金）をもちまして当院の院外処方せんFAXコーナーを終了といたしました。

院外処方せんは、かかりつけの調剤薬局へ直接お持ちいただくようお願いいたします。

大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

番号で呼びます

院内での患者さん呼び出しについて

当院では、患者さんのプライバシー保護とスムーズな診療を目的として、令和7年8月4日（月）より、受付機で発行された番号でお呼びし、診察室へご案内しております。受付機で出力された用紙は、診察が終了するまで大切に保管いただくようお願いいたします。（番号でお呼びしてもお返事がなかった場合は、お名前でお呼びします。ご了承ください。）

設備共同利用について

当院では、限りある医療資源を効率的に使用するため、医療機器の利用を地域の医療機関にも開放し、依頼を受けて検査を行っております。

検査料金については、依頼元である医療機関が患者様に行った診療行為として保険請求を行うことができ、医療機器の共同利用分として検査実施機関に一月分の使用料をまとめて支払うこととなります。

検査依頼書等の資料請求は地域医療福祉連携室までご連絡ください。

共同利用が可能な医療機器

- MRI 磁気共鳴画像診断装置 1, 450点
MRI撮影1.5ステラ以上3ステラ未満の機器
- CT X線コンピューター断層撮影装置 1, 020点
CT撮影16列以上64列未満のマルチスライス型
- コンピューター断層診断 450点
MRI・CTは放射線専門医による詳しい読影レポートが付きます。
- 骨塩定量検査 450点
X線骨密度測定装置 DXA法による腰椎撮影＋
大腿骨同時撮影加算

岩手県立遠野病院

地域医療福祉連携室だより



部門紹介

リハビリテーション技術科

当院のリハビリテーション技術科は、各診療科の主治医の指示の下、理学療法士4名、作業療法士1名、補助事務員1名の計6名で業務を実施しています。当院に常勤の言語聴覚士はおりませんが、地域の基幹病院である中部病院から月1回の頻度で業務応援を受けています。

診療体制として、早期介入及び治療の継続を目的に365日体制で週休日・祝日にも入院患者さんの対応をしています。また、整形疾患の患者さんを中心に外来リハビリも実施しています。

昨年度のリハビリ対象患者さんの平均年齢が84歳と、当地は高齢化が著しい地域です。在宅復帰を円滑に進めるために、地域包括ケア病床を活用しながら多職種との連携を強化しています。必要時は退院前カンファレンスを実施し、ご家族やケアマネージャー等へ経過や日常生活状況の共有をしています。また、経過報告書を通じて退院先への情報提供も行っています。

地域に貢献できるリハビリテーション技術科を目指してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（文責：小原 幸也）



リハビリ室に隣接する中庭です。四季折々の変化を感じられる景観で、患者さんにも評判です。



遠野病院 オープンホスピタル2025

令和7年7月26日、当院で6年ぶり2回目となる「遠野病院オープンホスピタル2025」を開催しました。当日は、小さなお子さんから医療を目指す学生さん、お年寄りの方まで114名の市民の方々にご参加頂き、盛況の内に無事終わることが出来ました。ご来場頂いた皆さま、開催に際しご協力を頂いた関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。頂いたご意見を参考に、来年度以降は更に良いイベントにできたらと思います。また、これまで以上に地域に開かれた病院にしていけるよう、職員一同皆さまの声に耳を傾けていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

以下は当日の様子です。

(文責：岡本 麻理)



受付の様子
ようこそ



リハビリ科
健康体操頑張ってます！



検査科
顕微鏡の体験コーナー
何が見えたかな？



普段は見られない
救急車の中
興味津々です



栄養科
栄養相談に栄養士がお答え
します



放射線科はこんなお仕事ですよ



薬剤科
一緒に調剤
やってみよう！



内視鏡検査
(胃カメラ)体験コーナー
山下医師が教えてくれました



看護技術体験
将来看護師めざしませんか？



特定行為看護師による講演



心肺蘇生コーナー
もしもの時・・・
大切な人を助けたい！

